



令和3年度 学校経営書



函南東中学校 校歌

一、消ゆることなき 白雪を
いただく富士の 気高さは
集うわれらに呼びかける
誠実の人を育むと
ああ友よ友 いざや学ばん

二、流れに踊る 若あゆを
愛しお狩野のやさしさは
励むわれらに呼びかける
豊かな人を育むと
ああ友よ友 いざや学ばん

三、輝き展く 函南を
抱く箱根の 雄々しさは
鍛えるわれらに呼びかける
たゆまぬ人を育むと
ああ友よ友 いざや学ばん

函南町立東中学校

〒419-0112 静岡県田方郡函南町柏谷 540 番地

TEL (055) 979-1566

FAX (055) 979-7083

E-mail : higashichuu@ny.thn.ne.jp

HP : <http://www.higashicyu.com/>

I 学校の沿革

年度	内 容
	昭和55年度新設中学校校舎建築、56年度4月1日開校決定。町長に答申。学校建設反対運動のため、
	函南町及び教育委員会で新設中学校の1年間延期を決定。
昭和57年度	4月1日函南町立東中学校開校
	第1回入学式(4月5日) 体育館完成(8月1日) 運動部室完成(12月) 第1回卒業式(3月19日)
	(年度内に校歌、校章、第1・第2応援歌決定)
58	校旗制定(4月3日) 南側運動場完成(9月)
59	「校章」生徒昇降口に完成(3月)
61	福祉教育実践校に指定 生徒会旗作成(4月)
	「思いやりのこころを育てる人間教育」で県教育委員会表彰 校訓碑作成(3月)
62	生徒会の歌作成(9月) 第1回はごろも教育研究奨励賞受賞(2月6日) 校歌碑作成(3月) 3階ラウンジレリーフ完成(3月)
63	体育館屋外時計設置(3月) 太鼓一台設置(3月)
平成元年度	文部省教育研究開発学校指定(3年継続研究)
	簡易保険制度新設(4月) スポットライト一台購入(4月) 生徒会県積善会表彰(2月)
2	文部省研究開発中間発表会開催(1月)
3	紙折り機購入(3月)
	大型ピンスポットライト一台、「柏の木」、生徒会旗作成、来客用茶器がPTAより10周年記念事業として寄贈(9月)
	体育館2階・床塗装替え工事、校舎外壁塗装工事(10月) 巨木フォーラム参加「原生の森」へ自然保護標柱設置(10月)
	文部省研究開発本発表会開催(11月) パソコン教室及び機器4台設置工事(11月) ガス漏れ警報機設置工事(12月)
	10周年記念誌、校舎全景はがき作成(3月) 国旗掲揚台及びポール一基設置(3月)
4	体育館暗幕張り替え工事(11月) 各階クロス張り替え工事(1月)
	生徒会県積善会表彰(2月) 生徒会歌碑一基設置(PTA簡易保険事業)(3月)
5	文部省学校保健統計調査実施校指定
	パソコン教室防犯設備工事(4月) テニスコート改修工事(11月) 教育課程研究開発で県教育委員会表彰(11月)
6	体育館非常階段塗装塗り替え工事(7月) 焼却炉設置(9月)
7	第2グラウンド東側、防球ネット設置(8月) 職員室・校長室・音楽室へエアコン設置(8月)
9	給食棟完成 給食開始(4月)
10	防球ネット・フェンス改修工事(6月)
11	外灯設置(9月) フェンス・西門扉工事(3月)
12	文部省「道徳教育体験活動推進事業」学校に指定 電話設備改修工事(9月)
	県教育委員会表彰「きれいな学校コンクール」(2月) 噴水修繕工事(3月)
13	図書室壁設置・床張り替え工事・音楽室床張り替え工事(8月)
	文部科学省指定研究発表会「道徳教育体験活動推進事業」(11月1日)
	創立20周年式典挙行記念誌、タイムカプセル(心の宝箱)制作(2月16日)
14	図書室エアコン二基設置(6月) 校舎内全トイレブース取り換え工事(8月)
15	体育館放送施設、職員室親時計取り換え工事
16	文部科学省「キャリア教育」研究指定校(3年継続) 体育館外壁塗装工事(7月)
17	体育館ステージ緞帳、脇幕、カスミ幕、バック幕取り替え・体育館1階カーテン取り替え(PTA簡易保険会より支出)
18	校舎外壁塗装工事(8月) 文部科学省「キャリア教育」地域発表会実施(11月)
19	生徒用昇降口すべり止め工事(8月) 校舎ラウンジ床張り替え(8月) 体育館トイレ改修工事(8月)
20	LL教室改修工事(8月)
21	防犯カメラ設置(5月) 外灯設置正門(5月) 教師用ノートパソコン設置(2月) 体育館階段壁改修工事(3月)
	小さな親切運動表彰(あいさつ運動実践校)(11月)
22	生徒昇降口天井張り替え(8月) パソコン室パソコン入れ替え、サーバー等の入れ替え作業(9月)
23	田方地区PTA連絡協議会指導者研修会(6月) 創立30周年記念式典(11月) 記念誌(2月)
24	パソコン室を第3理科室に改修(8月) 多目的室(旧LL教室)をパソコン室に改修(8月)
25	給食棟自動ドア修繕(7月) 特別支援教室空調機設置工事(8月) 体育館部室他改修工事(8月)
26	4階教室空調機設置工事(6月) 灯油タンク撤去(8月) 体育館2階支柱工事(8月) 防犯カメラ1台増設(8月)
27	タブレット導入 校舎排気窓オペレーター修繕(8月) 町教研授業公開(10月)
28	校務支援システム稼働(4月) 4階普通教室ロッカー改修(8月) テニスコート改修(7・8月) 技術室屋根改修(12・1月)
29	管理権限者パソコン入れ替え(9月)3階普通教室ロッカー改修(8月) 職員室デスクトップ3台入れ替え(9月)体育館消火栓施設改修(3月)
30	1階普通教室ロッカー改修(8月) 体育館外壁補修(12月)体育館玄関等天井補修(12月)
令和元年度	県総合防災訓練本校会場(9月) 普通教室・特別教室エアコン設置(2月) 第1グラウンド西側フェンス補修(2月)
	留守番電話設置工事(3月)
2	GIGAスクールケーブル敷設工事(1月) 体育館トイレ洋式化工事(2月) タブレット端末納入(2月)

令和3年度 函南町立東中学校グランドデザイン

【国の教育方針】

「生きる力」の育成

【県の教育方針】

「有徳の人」の育成

自立した人、かかわる人、
行動する人

【町の教育推進構想】

- 1 「豊かな感性」を育む
道徳教育の充実
- 2 「確かな学力」を育む
学習指導の充実
- 3 「健やかな心身」を育む
健康教育の充実
- 4 「体験・交流活動」の充実と推進
- 5 「幼児教育・保育」の充実と推進
- 6 「読書の町・かんなみ」
の活動推進

学校教育目標

夢の実現に向け、
挑戦し続ける生徒

重点目標

- 1 目標を持ち、確かな学力を身に付ける生徒(知)
- 2 お互いに認め合い支え合う生徒(徳)
- 3 粘り強く、心身を鍛える生徒(体)

校訓 明朗・誠実・勤勉

【本校の教育課題】

- ・学向ノートのあり方、家庭学習の習慣化についての検討
- ・図書室の利用率の向上と読書に対する関心度の向上
- ・自己肯定感の更なる向上
- ・主体的に活動する生徒の育成
- ・総合的な学習の時間の見直し
- ・新学習指導要領実施に対応した学習展開、評価評定等に関する研修
- ・GIGAスクール構想に基づいた、ICT機器を活用した学習方法に対する研修
- ・コロナ禍における教育活動のあり方

学校経営の目標と重点指導内容・目標値

1 「わかる」から「楽しい」授業と家庭学習の充実を図る。

- めあての明示と振り返り、UDの視点を取り入れた授業改善
 - ・「めあて」を意識させ、学んだことを「振り返り」で確認している教員 90%
 - ・「わかる授業」をするための指導方法の工夫・改善に努めている教員 100%
 - ・「授業の内容が分かる」と実感する生徒 92%
- 学向ノート等を用いた家庭学習の習慣化
 - ・夢や目標に向かって、学習に一生懸命取り組んでいる生徒 88%

第5ステージ 「感謝」

2 受容的な雰囲気をつくり、子どもたちとの信頼関係を構築する。

- 「ベップトーク」を意識し、生徒のよさや頑張りを認め励ます指導
 - ・生徒のよいところを見つけ、積極的に誉めている教員 90%
 - ・信頼できる先生がいる 93%
 - ・人の役に立てた、人から喜んでもらえた、人から認められたと感じている生徒 86%
- いじめゼロ、よりよい人間関係づくり
 - ・いじめアンケートの実施5回/年、解決 100%
 - ・Q Uの分析により、適切な学級経営が行われていると感じている教員 80%

第4ステージ 「充実」

3 主体的に取り組む学校行事や部活動等の充実を図る。

- 学校行事の充実
 - ・学校行事は楽しく、意欲的に取り組んでいると考えている生徒 90%
- 充実した部活動
 - ・部活動は楽しく、積極的に取り組んでいると感じる生徒 90%
- 行事のねらいの明確化、有効な手立てと振り返りによるPDCAサイクルの確立
 - ・学校行事は、生徒が意欲的に取り組めるものになっていると感じている教職員 90%

第3ステージ 「団結」

4 子どもの命を大切にし、健康の保持増進と体力の向上を図る。

- 健康・安全・防災指導の充実
 - ・事故、災害等に対して、組織的に迅速かつ適切な処置ができていると感じている教員 90%
 - ・不審者に遭ったときや災害が起こったとき、どう行動すればよいか分かっている生徒 90%
 - ・防災教育（1年）避難訓練（3回/年）の実施
- 健康な生活習慣の確立
 - ・治療完了率 60%、朝食摂取率 100%
 - ・起床、就寝時刻が決まっている生徒 90%

第2ステージ 「挑戦」

5 PDCAサイクルに基づいた教育課程の推進と組織の活性化を目指す。

- カリキュラムマネジメントの意識の共有
 - ・学校運営に教職員の意見が反映されている 90%
- 各ステージの反省と次のステージの計画とのつながりの重視
 - ・教育目標や重点目標を意識して教育活動に当たっている教職員 95%
 - ・分掌が適切に組織され、運営が円滑に行われていると感じている教職員 90%
- 教職員間のスムーズな連絡連携体制の確立
 - ・職員室は居心地がよく、安心して仕事に励むことができると感じている教職員 90%

第1ステージ 「創造」

生徒会五箇条

- 1 礼儀・挨拶
- 2 服装
- 3 授業態度
- 4 清掃
- 5 部活動

6 開かれた学校づくりに向け、家庭・地域と連携する。

- 情報の発信と共有
 - ・学校便り、学年便り、学級だより、月行事予定を毎月発行、ホームページへの掲載
- PTAや学校運営協議会等の外部組織との連携による教育活動の強化
 - ・PTA、学校運営協議会、町関係機関、民間企業等との連携による教育活動、奉仕活動の実施
- 地域活動への積極的な参加
 - ・地域行事に参加する生徒 65%
- 「函南スタンダード」の周知と推進
 - ・「函南スタンダード」を意識している生徒 90%

Ⅲ 学校の概要

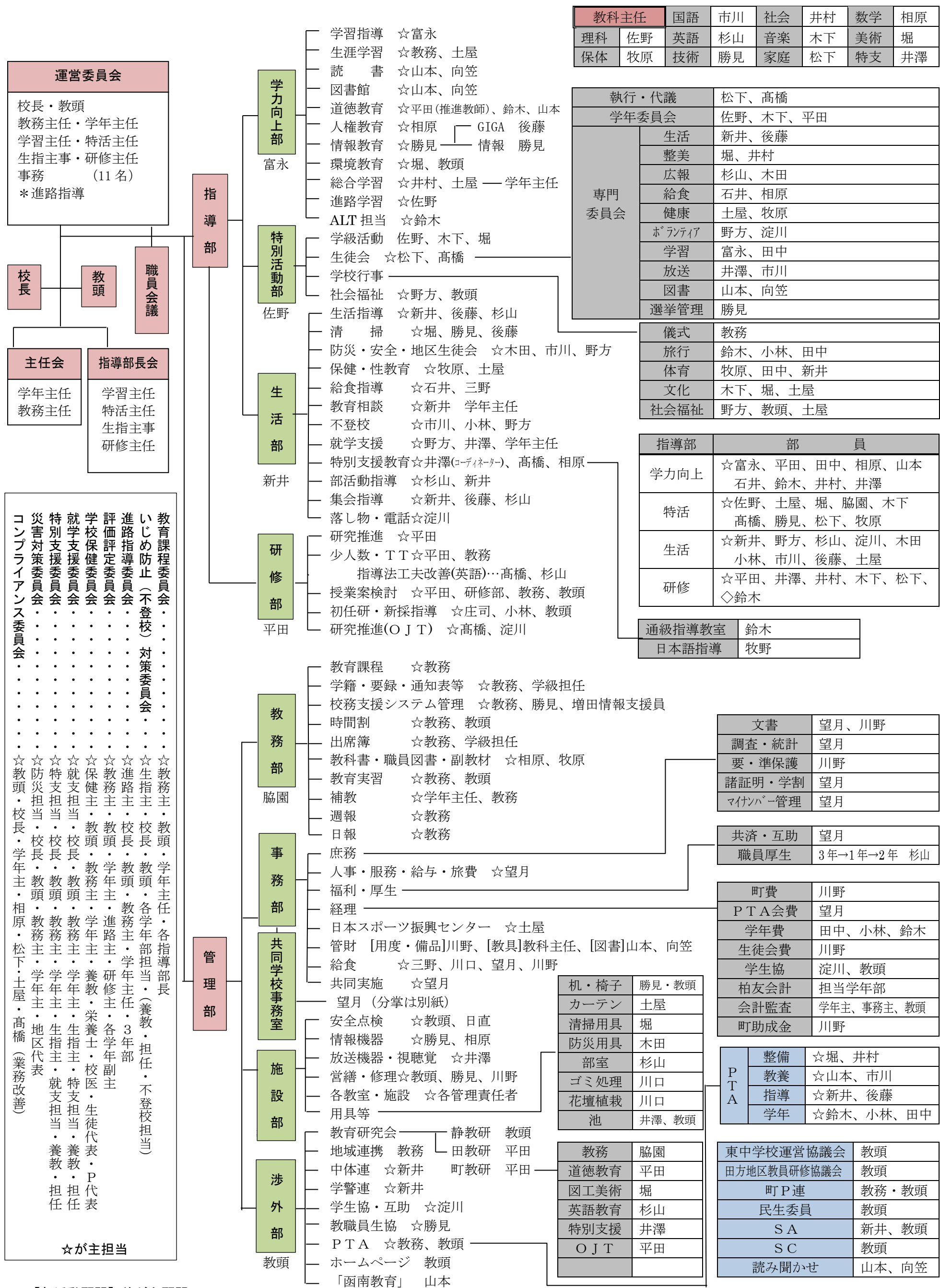
1 学級編成及びPTA会員数(5月1日現在)

学年	組	男	女	計	P数	学年	組	男	女	計	P数	学年	組	男	女	計	P数
1年	1	15	16	31	25	2年	1	16	17	33	31	3年	1	17	13	30	30
	2	16	15	31	27		2	16	17	33	31		2	16	13	29	29
	3	15	15	30	20		3	15	18	33	33		3	17	13	30	29
	4	15	15	30	24		4	16	17	33	30		4	16	13	29	29
	5	15	16	31	22		5	15	18	33	33		5	17	13	30	29
6組		2	0	2	2	6組		3	0	3	3	6組		0	1	1	1
7組		0	2	2	1	7組		1	0	1	1	7組		0	1	1	1
												合計		243	233	476	431

2 教職員一覧(5月1日現在)

No.	職名	氏名	教科	担当等	No.	職名	氏名	教科	担当等
1	校長	樋口 正則			23	教諭	松下枝理香	家庭	3-1
2	教頭	室野 行宣	数学		24	教諭	杉山 大介	英語	1-4
3	教諭	野方 正弘	英語	特別支援学級(自・情)	25	教諭	牧原 里佳	保体	3-3
4	教諭	木田 洋範	社会	2年部	26	教諭	淀川 裕樹	数学	1-2
5	教諭	山本五十六	国語	2年部	27	教諭	勝見 誠斗	技術	2-3
6	教諭	庄司 武史		初任研指導員	28	教諭	高橋 拓巳	英語	2-4
7	教諭	田中 直子	保体	1年部主任	29	教諭(臨)	土屋 洋治	社会	1年部
8	教諭	堀 隆信	美術	1-5	30	教諭(臨)	石井志都子	英語	2年部
9	教諭	小林 俊弘	数学	2年部主任	31	養護教諭	土屋 智美		
10	教諭	鈴木裕香子	英語	3年部主任	32	栄養教諭	三野 美咲		
11	教諭	新井 孝将	保体	2-5 生徒指導	33	県事務主査	望月 茜		
12	教諭	富永 圭太	理科	2-1 学力向上	34	SC	川田 麗		
13	教諭	脇園 篤	国語	教務主任	35	県会計年度職員	工藤 孝子		学び方支援
14	教諭	江川 太一	数学	教職大学院	36	県会計年度職員	牧野ふみ子		日本語指導
15	教諭	井澤 拓巳	英語	特別支援学級(知)	37	県会計年度職員	伊藤 仁美		スクールサポートスタッフ
16	教諭	井村 和仁	社会	3-2	38	県会計年度職員	川田 麗		スクールカウンセラー
17	教諭	平田 智博	理科	1-3	39	町事務主事	川野 翠		
18	教諭	相原 由季	数学	1-1	40	用務員	川口 文子		
19	教諭	後藤 卓	数学	3-5	41	町会計年度職員	平松 茂		特支学級介助員
20	教諭	佐野 秀樹	理科	3年部 進路指導	42	町会計年度職員	矢島 智子		特別支援教育支援
21	教諭	木下 春菜	音楽	2-2	43	町会計年度職員	向笠 永子		図書館司書
22	教諭	市川 春奈	国語	3-4		ALT	ジョサリン ネルソン		

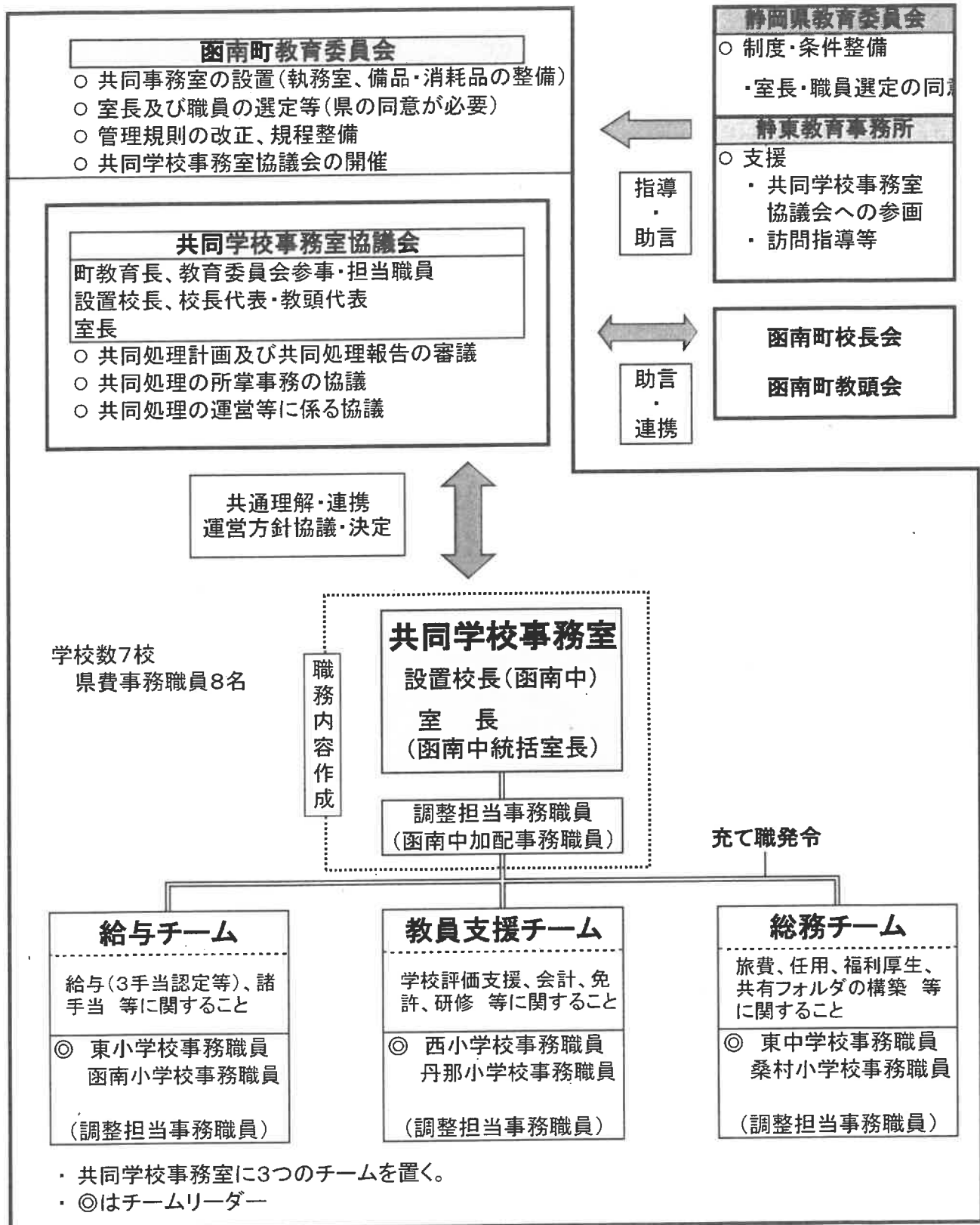
3 令和3年度 職員分掌組織表



※柔道・水泳他

野球	ソフト	男子卓球	女子卓球	剣道	男子テニス	女子テニス	男子バスケ
脇園、杉山	小林、杉山	井村、山本	松下、山本	勝見、田中	淀川、木田	牧原、野方	平田、後藤
女子バスケ	男子バレー	女子バレー	サッカー	陸上	教養	吹奏楽	美術
鈴木、後藤	佐野、高橋	井澤、高橋	富永	新井	相原	木下、市川	堀

令和3年度 函南町「共同学校事務室」組織図



IV 教育計画

1 終始・年間授業日数

(1)各学期始業式、終業式の期日及び入学式、卒業式の期日並びに各学期の授業日数

1学期	入学式	4月 8日	2学期			3学期	始業式	1月 6日
	始業式	4月 7日		始業式	8月26日		修了式	3月18日
	終業式	7月21日		終業式	12月24日		卒業式	3月18日
授業日数		72日	授業日数		83日	授業日数		49日

(2)年間授業日数

204日

(3)週授業時数

29時間

(4)長期休業期間

夏季休業	7月22日～8月25日
冬期休業	12月25日～1月 5日

(5)時間配当表

学 年	教 科										道 徳	総 合 的 な 学 習 C	特 活 ① 学 級 活 動 D	総 授 業 時 数 A B C D 計	特別活動②			総 時 数 A B C D E 計
	国 語	社 会	数 学	理 科	音 楽	美 術	保 健 体 育	技 術 家 庭	外 国 語	必修教科 小計A					生徒会活動	学校行事	特別活動②小計E	
1	146	111	146	111	48	48	110	75	146	941	36	52	35	1064	9	34	43	1107
2	146	111	111	146	38	38	110	75	146	921	36	72	40	1069	9	35	44	1113
3	110	145	145	145	37	37	110	37	145	911	36	72	38	1057	8	45	53	1110

2 週時程

		月	火	水	木	金
8:00～8:10	朝の活動	出席確認 読書	出席確認 読書	出席確認 読書	出席確認 読書	出席確認 読書
8:10～8:20		朝の会	朝の会	朝の会	朝の会	朝の会
8:30～9:20	第1校時	授 業	授 業	授 業	授 業	授 業
9:30～10:20	第2校時	授 業	授 業	授 業	授 業	授 業
10:30～11:20	第3校時	授 業	授 業	授 業	授 業	授 業
11:30～12:20	第4校時	授 業	道 徳	授 業	授 業	授 業
12:20～12:50	給 食	給 食	給 食	給 食	給 食	給 食
12:50～13:15	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み
13:20～14:10	第5校時	授 業	授 業	授 業	授 業	授 業
14:20～15:10	第6校時	授 業	授 業	帰りの会 14:20～14:35	授 業	授 業／総合
15:15～15:25	帰りの活動	帰りの会	清 掃	会議／研修 15:00～	帰りの会	清 掃
15:30～15:45		15:20～15:35	帰りの会		15:15～15:30	帰りの会
	放課後	生徒会活動 15:45～	部活動 15:55～		部活動 15:40～	部活動 15:55～

V 研修計画

研修テーマ（研修構想）

令和3年度 学校教育目標

夢の実現に向け、挑戦し続ける生徒

重点目標

**目標をもち、確かな学力を身に付ける生徒（知）
お互いに認め合い支え合う生徒（徳）
粘り強く、心身を鍛える生徒（体）**

学校経営目標

- (1) 「わかる」から「楽しい」授業と家庭学習の充実を図る。
- (2) 受容的な雰囲気をつくり、子どもたちとの信頼関係を構築する。
- (3) 主体的に取り組む学校行事や部活動等の充実を図る。
- (4) 子どもの命を大切に、健康の保持増進と体力の向上を図る。
- (5) PDCAサイクルに基づいた教育課程の推進と組織の活性化を目指す。
- (6) 開かれた学校づくりに向け、家庭・地域と連携する。

【令和3年度研修テーマ】

**「わかる」「できる」喜びの実感を積み重ね、確かな学力を育む
～「やる気がでる楽しい授業」をめざして～**

【研修の柱】

①「主体的で対話的な深い学び」を意識した授業づくり

- ・学習が苦手な生徒でも「分かった！」という自信をもてる分かりやすい指導方法を考える。
→わかりやすいものに例えた説明や、授業・ワークシートのUDの視点
- ・中～上位層の生徒の思考力・判断力・表現力を高める授業づくりを進める。
→タブレットを効果的に活用した対話活動、プレゼン活動、教え合いなど

②「PEP TALK」

- ・生徒の発言を受容、価値付けするスキルを高める。
- ・講師を招いての研修を企画する。

③「ICTの有効活用」

- ・生徒全員に配付されるタブレットとデジタル教科書（道徳）の有効な活用方法を教科部会、授業研修等を通して見つけていく。道徳の授業での実践を各教科に広げる。全教員がタブレットの基本スキルをマスターする。

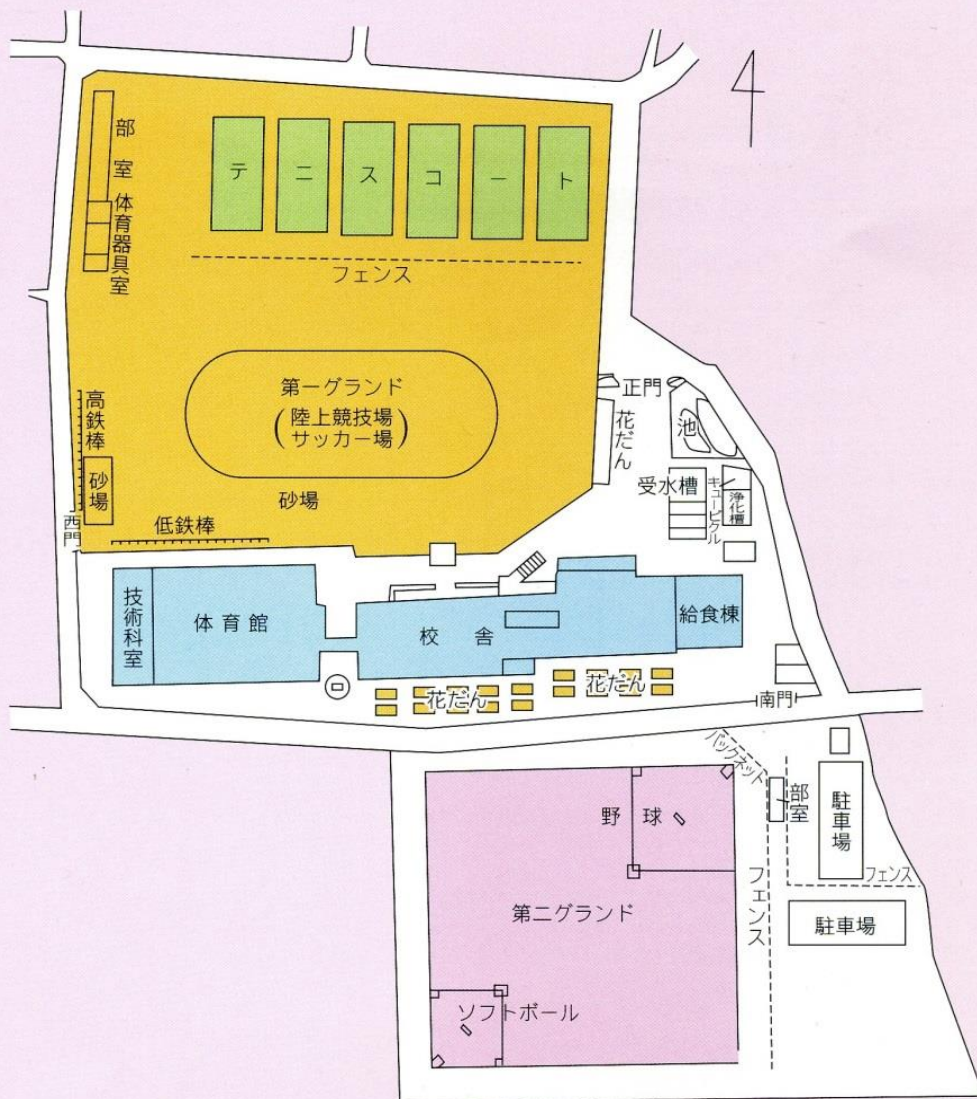
④「OJT」

- ・若手とベテランをつなぐOJTの充実を図る。必要な時期に必要な内容で実施する。

⑤「公開授業研修」

- ・各学年、1学級だけを5時間目に残し、それ以外の学級は下校。学年部で授業構想を行い、代表者が授業実践してその他の教員で参観。事後研修ではPEP TALK やタブレットの活用などの視点で授業の成果と課題について協議する。

VI 校地・教室配置図



4 F														資料室		パソコン室				WC		WC	
WC		WC			第1音楽室		準備	第2音楽室		学年会議室													
1-1				1-2				1-3				学年学習室		ラウンジ		1-4		1-5		通級指導 楽器庫			

3 F

WC	WC		第1家庭科室	準備	第2家庭科室	吹き抜け	資料室	図書室			WC	WC
						バントリ						
2-1		2-2		2-3		学年学習室		ラウンジ	2-4	2-5	7組	

[illegible]